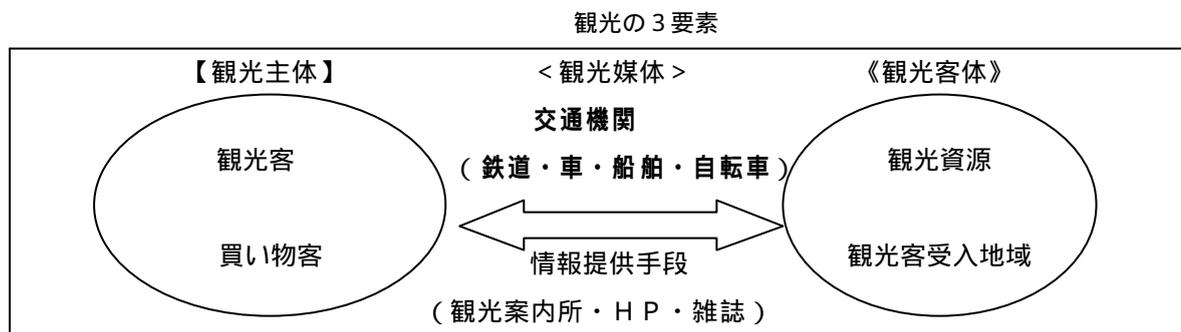


1. 観光と交通との相関関係

1. 観光における交通の位置づけ

1) 観光を構成する3つの要素

観光は、観光客 (= 観光主体) が観光地や観光施設 (= 観光客体) を訪問する行動であり、その行動を助長、促進する交通や観光情報 (= 観光媒体) によって構成されており、観光振興を進めるにはこれらの3つ要素に対する刺激策を与えることが必要となる。



【観光主体】 観光客 (旅行者、コンベンションへの参加者 等)

《観光客体》 観光資源 (自然、温泉、旅館・ホテル、レジャー施設、町並み、イベント、産業施設、農山漁村体験、特産品、商業施設等の集客資源・施設とそのサービス)、受入地域 等

<観光媒体> 交通施設 (道路・鉄道、移手段)、情報 (観光案内所、ガイドブック、HP 等)

2) 観光における交通の位置づけと役割

観光と交通の相互関係

【交通網の整備や廃止が観光に与える影響】

交通網の整備、特に広域的な高速交通網の整備は、地域の観光構造、特に観光客の行動特性に大きな影響を及ぼす。例えば、これまで発地 (マーケット) からの時間距離が長く、アクセスが不便であった地域は新幹線や高速道路などの整備によって宿泊拠点になる一方で、従来は宿泊観光客で賑わっていた地域は、到達時間の短縮により日帰り圏になってしまい、観光入込客数は増加するものの観光消費額は落ち込むといったケースが現実に生まれている。

* 新幹線や高速道路の整備が、宿泊者増加をもたらすケースと宿泊客が減少して日帰り客が増加するケース

* 鉄道の廃線によって、観光入込客数が減少するケース

* 広域交通網の整備によって、マーケットが広域化 (拡大) するケース 等

【観光の魅力向上が交通に与える影響】

魅力ある観光地が、交通需要を引き起こすこともある。例えば、集客力がある魅力的な観光地 (地区) あるいは観光施設の形成によって、特急列車が増便されるなど既存の交通網を活用

した新たな交通需要が生まれる、あるいは観光需要を見込んだ交通網が新たに整備されるなどの効果を生み出すケースもある。このようなケースでは、交通網の整備によって観光振興が促進されるというよりは、むしろ観光地の魅力が交通需要に影響を及ぼしている。

- * 大規模なアミューズメント・パーク等の開業によって、新たな鉄道やバス路線が開設されるケース
- * 観光地の魅力度が向上することによって、遠距離からの特急列車が運行される、あるいは新型車両が導入されるケース 等

【交通と観光とが相互影響を及ぼしあう場合】

交通サービスの充実と、既存観光地の魅力度向上の両側面からの取り組みによって、観光入込客が増加する一方で、交通需要もさらに高まるケースが想定される。但し、この場合、「卵が先か、鶏が先か」で、上記の1)または2)のケースと明確には区別できないケースもある。

- * 観光地の魅力に向けて観光商品を造成すると同時に新型車両を導入し、ますます観光入込客が増加したため、さらに新型車両の増加と直通特急列車を導入し、駅舎を改築するケース
- * 交通網が整備されるとともに、その整備効果を活用して観光地が様々な取り組みを実施した結果、観光地としての魅力が向上したケース 等

【交通と観光がさほど影響を及ぼしあわない場合】

観光地が魅力的であるが故に交通面での不便さが観光需要に影響を与えないケースや交通面での不便さがむしろ観光地の魅力度を増しているケース等交通と観光がそれほど大きく相互に影響を及ぼしあわないケースが想定される。

- * 個性ある観光地としての取組みによって、交通が不便でも観光入込客数が増加しているケース
- * 車の乗入れ規制にもかかわらず、観光入込客数が維持・増加しているケース 等

観光における交通の役割

交通は主として観光媒体として位置づけられるものの、観光地は観光客の移動にそって演出される。また、海岸線や山岳・高原の道路や鉄道・バスの車窓のように結果的に美しい景観を見せる場を提供するという役割も持っている。普段見る自家用車からの風景と高い目線のバスからの風景、あるいは自転車から見るゆったりとした風景は、それぞれ観光風景の多様性を醸し出す手段としても有効である。

さらに、交通は単なる移動手段としての役割だけではなく、その乗り物自体が観光資源としての役割を演じるケースも多い。蒸気機関車、船、人力車等乗り物の他、長大橋やレトロな交通施設などもその地域の魅力を向上させる観光資源として活用されている。このように観光における交通には、単に移動手段としての交通のほか、観光地の魅力向上の仕掛けとしての役割を持っている。

このように観光と交通とは密接な関係を持っており、観光振興を通じた活力ある地域社会を構築するためには、交通整備と観光振興が相互に及ぼしあう影響や効果を十分に念頭において、諸施策を講じていくことが必要である。